



[あのとき私は・・・東日本大震災から10年]

ー東日本大震災 2011年(平成23年)3月11日 14時46分 発生ー

今年の3月11日で東日本大震災から10年になります。地震が起こった時、あなたはどこで何をしていましたか。何を感じましたか。防災リーダーに思い起こしていただき、原稿を募りました。おりしも、2月13日午後11時08分、東日本大震災の余震と考えられる地震がありました。大災害を忘れないこと、風化させないことが防災・減災の第一歩と考えます。

投稿をしていただいた防災リーダーの皆さま、ご協力をありがとうございました。

震災があった日は、私が元の会社を定年退職して新たに東京駅のすぐ近くのGRANTOKYO NORTH TOWERの27階のオフィスで働き始めてすぐの頃でした。

14:46分に長周期の大きな横揺れが始まって、ビルのエレベーターはストップするし、階段も揺れが大きいので通行禁止になり27階から外を眺めると周りのビルも工事中のクレーンも同様に今にも倒壊すると思えるくらいに左右に大きく揺れていたのを鮮明に覚えています。

幸い電気と水道は止まらなかったもので、家族の安否確認のため携帯及び会社の電話から連絡を取るも全くつながらない状態でしたので、Emailを打つてみたらやっと家族全員と連絡が取れました。当時持っていた携帯にTVを受信する機能が付いていたので、その次の朝まで籠城して徹夜で全国の状況を実況で見て情報を得ることができました。

夜10:00ごろビルのオーナーからだという事で、籠城者全員にカップラーメンとお菓子が配られて初めてお腹がすいていることに気付いたことも覚えています。

次の朝東海道線が動き出したという情報を基に、階段を下りて東京駅まで行くと籠城組の帰宅者でいっぱいでした。

教訓としては、やはり正しい情報を早局的確に把握できることが重要だと思いました。

2011年3月11日(金)14:46 この日は、私の人生にとっても忘れられない一日です。その時私は会社(食品工場)に居ました。生産ラインは完全にストップし、バスと電車で通勤している私は結局その日は家に帰れず、会社で一夜を過ごしました。この日生産した商品は販売出来ず全て廃棄となりました。そしてもう一つ海の近くに住む私の地域が、大津波警報が発令され、緊張が走りました。最悪家が潰されるのを覚悟し、その時は家族が無事であって欲しいと祈るだけでした。結局警報は解除され幸いでした。地震後約2週間は生活用品の品不足や車のガソリン給油で渋滞が起きたり、計画停電も3回ありました。

今、あの日を振り返ってみると、地震の影響で多少の不自由はありましたが、私達の地域では被災はなく幸運でした。反面被災地では家を失い、家族を失い、不自由な避難生活をしいられた人々の事を考えると、心が傷む思いです。今後私達の地域にも大きな災害がいつかは来る事をしっかりと心にきざんでおかねばなりません。起きる前に何をするのか、起きた時に何が出来るのか、何をしなければならぬかが大事だと思います。コロナ禍にある現在にももし災害が起き、避難生活での感染症対策も課題です。私は現在地域の自主防災活動の役割を担っていますが、コロナ禍であっても防災訓練や市民に対する啓蒙活動を(勿論コロナ感染に注意しながら)積極的に推進すべきと考えます。

(茅ヶ崎南地区防災担当)